



本紙への広告掲載のお問合せは:
株式会社 日本レースプロモーション
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25
03-3237-0131 <http://www.f-nippon.co.jp>



2011 Formula NIPPON 総集編DVD絶賛発売中
初参戦の若きF1経験者・中嶋一貴が刺激になったか、実力がありながら「無冠の帝王」に甘んじていたアンドレ・ロッテラーがついに覚醒! 山本尚貴や塚越広大といった若手の台頭やロッテラーと前チャンプのオリベira、幸駄夫・小暮卓史との激闘など、各名面の連続だった2011年フォーミュラ・ニッポンをここに再現!! さらにJAF GPでのデッドヒート、スペシャルインタビューなども収録。
お求めは、J SPORTSオンラインショップ (<http://shop.jsports.co.jp/>)、その他取扱店で。定価3,990円(税込)

J SPORTS
J SPORTSは今年もFormula NIPPONを全戦放映。サーキットに集まるファンに、レースの臨場感をお届けします。
●フォーミュラ・ニッポン2012 第3戦 決勝
決勝 5/27(日) 14:00~17:00 J SPORTS3(生放送)
決勝再放送 5/28(月) 19:30~22:00 J SPORTS3
5/29(火) 24:30~27:00 J SPORTS1 (ほかリピート放送あり)
●フォーミュラ・ニッポンのから騒ぎ
フォーミュラ・ニッポンの将来を担うサムライ達が集結し、フォーミュラ・ニッポンについて「ざっばらん」に語る。出演:中嶋一貴/平手晃平/小暮卓史/塚越広大
5/28(月) 15:30~15:40 J SPORTS1 (ほかリピート放送あり)
○番組ホームページ: http://www.jsports.co.jp/motor/formula_nippon/

BSフジ
決勝日の翌週日曜日(再放送は翌土曜日)にレースダイジェストを放映します。
●フォーミュラ・ニッポン2012 第3戦 オートポリス
6/1(金) 18:00~18:55[再放送6/9(土)13:00~13:55]
○番組ホームページ: <http://www.bsfuji.tv/top/pub/formula2012.html>

ST600 Official Practice Time Race2/16laps Start: 12:45

Pos.	No.	Rider	Team	Best Time
1	65	Chalermpol Polamai	YamahaThailandRacingTeam	1'52.674
2	30	Decha Kraissart	YamahaThailandRacingTeam	1'53.023
3	15	津田 拓也	WestPower	1'53.061
4	75	大崎 誠之	伊藤RACING・GMDスズカ	1'53.675
5	43	中富 伸一	HITMAN RC甲子園ヤマハ	1'54.005
6	9	岩崎 哲朗	RS-ITOH&ASIA	1'54.109
7	3	渡辺 一馬	Kohara Racing	1'54.138
8	634	小林 龍太	MuSASHI RTハルクプロ	1'54.173
9	62	横江 竜司	RT森のくまさん佐藤豊仙台	1'54.193
10	6	佐藤 裕児	HITMAN RC甲子園ヤマハ	1'54.293
11	23	手島 雄介	CLUB PLUS ONE	1'54.576
12	12	岡村 光矩	RSGLレーシング&ドリーム北九州	1'54.615
13	77	井筒 仁康	RS-ITOH&ASIA	1'54.631
14	20	中山 真太郎	TEAMしんたろうwithKRT	1'54.738
15	16	國川 浩道	HiRaNo・HouYou	1'54.882
16	33	西嶋 修	SPA直入インストwithファイバー	1'55.068
17	82	原田 武人	グリーンクラブ能塚	1'55.111
18	17	稲垣 誠	アケノスピード・MIC	1'55.134
19	59	荒瀬 貴	グリーンクラブ能塚	1'55.193
20	19	伊藤 勇樹	DOG FIGHT RACING・YAMAHA	1'55.292
21	47	白木 晶夫	グリーンクラブ能塚	1'56.123
22	72	田中 浩哉	グリーンクラブ/MOTO BOY	1'56.134
23	25	清水 直樹	Express HouYou	1'56.459
24	50	西山 尚吾	RSGLレーシング	計測出来ず

****以上 Qualifying2にて決定****
****以下 Qualifying1にて決定****

25	28	藤島 翔太	4Sure ホンダドリーム名古屋西	1'56.380
26	76	中道 申吏	RSGLレーシング	1'56.450
27	26	篠崎 佐助	SP忠男レーシングチーム	1'56.559
28	55	長谷川 直樹	CONFIA・HMF&AS小笠原	1'56.753
29	162	Muhammad Fadi Imamuddin	Manual-Tech Beet Kawasaki	1'56.863
30	64	矢田 栄一朗	T.T.MOTO	1'56.914
31	78	山浦 司	ZOOM R.T.	1'57.041
32	83	松本 正幸	Teamマキサー&モトスト	1'57.265
33	57	蒲谷 朋大	ファイバーサンタwithRSG	1'57.436
34	46	大山 翼	Honda緑陽会熊本レーシング	1'57.574
35	32	深津 拓真	チームスガイレレーシングジャパン	1'57.659
36	44	松川 泰宏	MOTO BUM HONDA	1'58.062
37	37	近藤 湧也	GBSレーシング	1'58.107
38	74	川崎 恭史	JunMOTOR'S+BLR	1'58.509
39	88	須貝 義行	チームスガイレレーシングジャパン	1'59.300

****以上予選通過基準タイム(2'03.801 - 110%)****
85 谷口 和英 ライダースコア & エルシノア 計測出来ず

■予選日:5月26日(土) ■天候:晴/20.4℃/37% ■路面:ドライ
■出走台数:40台
■従来のレコードタイム:
Decha Kraissart/YAMAHA YZF-R6/1'54.628(2011.6.4)

Formula NIPPON Starting Grid Race start: 14:30

Pos.	No.	Rider	Team	Best Time
1	41	塚越 広大	DOCOMO TEAM DANDELION RACING Honda HR12E	01:1'28.692 02:1'28.856 03:1'28.523
2	20	松田 次生	TEAM IMPUL TOYOTA RV8K	01:1'29.327 02:1'29.574 03:1'29.017
3	7	大嶋 和也	Team LeMans TOYOTA RV8K	01:1'29.693 02:1'29.643 03:1'29.182
4	40	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING Honda HR12E	01:1'28.928 02:1'29.112 03:1'29.380
5	8	ロイク・デュバル	Team KYGNUS SUNOCO TOYOTA RV8K	01:1'29.603 02:1'29.343 03:1'29.625
6	38	平手 晃平	Project μ/cerumo-INGING TOYOTA RV8K	01:1'30.246 02:1'29.585 03:1'29.663
7	2	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S TOYOTA RV8K	01:1'30.246 02:1'29.585 03:1'29.663
8	19	ジョアオバオロ・デオリベira	TEAM IMPUL TOYOTA RV8K	01:1'29.707 02:1'30.954
9	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING Honda HR12E	01:1'30.003 02:1'29.991
10	39	国本 雄資	Project μ/cerumo-INGING TOYOTA RV8K	01:1'30.207 02:1'30.001
11	10	金石 年弘	HP REAL RACING Honda HR12E	01:1'30.222 02:1'30.594
12	1	アンドレ・ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S TOYOTA RV8K	01:1'29.481 02:1'31.535
13	3	安田 裕信	KONDO RACING TOYOTA RV8K	01:1'30.384
14	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING Honda HR12E	01:1'30.816
15	62	嶋崎 宏紀	TOCHIGI Le Beausset Motorsports TOYOTA RV8K	01:1'31.736
16	18	折目 遼	SGC by KCMG TOYOTA RV8K	01:1'32.422
17	16	山本 尚貴	Team 無限 Honda HR12E	*1

予選日:2012年5月26日(土) 出走17台
Q1:天候:晴/路面:ドライ
Q2:天候:晴/路面:ドライ
Q3:天候:晴/路面:ドライ
予選通過基準タイム:1'34.900/01/107%
*1:No.16は、国内車規則別フォーミュラ第13条2.10.1(ウイング高縮)違反におき全タイム抹消とする。
*本グリッドが公式予選結果を元に予選通過基準時間で作成したもので、主催者による公式発表とは異なります。

2012 フォーミュラ・ニッポン年間スケジュール

Rd.	4/14,15	鈴鹿サーキット	Rd.5	8/4,5	ツインリンクもてぎ
Rd.1	4/14,15	鈴鹿サーキット	Rd.5	8/4,5	ツインリンクもてぎ
Rd.2	5/12,13	ツインリンクもてぎ	Rd.6	9/22,23	スポーツランドSUGO
Rd.3	5/26,27	オートポリス	Rd.7	11/3,4	鈴鹿サーキット
Rd.4	7/14,15	富士スピードウェイ	SPL	11/16-18	FUJI SPRINT CUP

QUALIFYING NEWS FLASH

Rd. 3

予選速報 2012 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 第3戦 2012年5月27日(日) オートポリス www.f-nippon.co.jp

発行人/編集人: 株式会社 日本レースプロモーション 〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25
Series Partner: HONDA TOYOTA
Series Supporter: BRIDGESTONE
Series Supporter: 観光庁 Japan Tourism Agency
Take Free ご自由におとりください



新路面をただひとり征服!
塚越広大(DOCOMO TEAM DANDELION RACING)がオートポリス連続ポール!!
松田次生が最前列スタートを獲得! 2列目には大嶋、伊沢が並ぶ



5月26日(土)、全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第3戦の公式予選が、オートポリス(大分県)で行われ、No.41 塚越広大(DOCOMO TEAM DANDELION RACING)が、自身2度目のポールポジションを獲得した。

なんとロッテラーとデ・オリベiraがQ2で敗退!?

昼過ぎから曇り空となり、21度と涼しいオートポリス。午後2時から20分間のQ1が開始された。ピット出口がオープンになると、午前中のフリー走行でクラッシュを演じたNo.19 ジョアオバオロ・デオリベira (TEAM IMPUL)を除く16台が、間もなくユースドタイヤを装着してコースへと入って行く。今年のオートポリスは、路面が再舗装されたこともあり、このユースドタイヤの時点で、多くのドライバーがこれまでのレコードタイムを更新して行く。残り時間が6分で、次々にニュータイヤを装着して、タイムアタックに入っていく。マシンの修復がようやく終わったデ・オリベiraも、いきなりニュータイヤでのアタックだ。チェッカー目前、トップタイムをマークしたのは塚越。2番手にはNo.40 伊沢拓也(DOCOMO TEAM DANDELION RACING)、No.20 松田次生 (TEAM IMPUL)と続く。Q1では、この2人だけが1分28秒台に突入した。以下、No.1 アンドレ・ロッテラー (PETRONAS TEAM TOM'S)、No.8 ロイク・デュバル (Team KYGNUS SUNOCO)、No.7 大嶋和也 (Team LeMans)、No.16 山本尚貴 (TEAM 無限)と続き、デ・オリベiraも8番手に滑り込んだ。ここから10分の間を置いて、7分間のQ2が始まる。気温、路面状況はQ1とほぼ同じ。ピット出口がオープンされると、まず松



田がコースイン。フロントタイヤをスクラブして一旦ピットに戻る。その後、No.2 中嶋一貴 (PETRONAS TEAM TOM'S)、伊沢、No.38 平手晃平 (Project μ/cerumo-INGING)、塚越、デオリベiraがニュータイヤでコースイン。残り4分あたりでアタックに入る。そして、再びチェッカー目前にトップに立ったのは塚越。伊沢、デュバル、一貴、松田、平手、大嶋、山本と続いた。中でも、松田は周目のアタック中にジェットコースターストリート下でスピン。なんとか仕切り直して、Q2を突破した。一方、ここで敗退となったのは、アライメントを取るまでの時間がなかったデ・オリベira、さらに、ディフェンディングチャンピオンのロッテラーも13番手という結果に終わってしまう。ロッテラーは、アタック途中、松田のスピンに遭遇し、仕切り直しを目指したが、コントロールラインに戻ってきた時点で、すでにチェッカーでアタックできなかった。この他No.32 小暮卓史 (NAKAJIMA RACING)ら3名がQ2敗退となった。

塚越が予選全セッションを制する
そこから10分間のインターバルを経て、いよいよポールポジション

を決定するQ3が始まったのは、午後2時47分。このセッションでは、ピット出口がオープンされると、まず一貴がコースインし、フロントタイヤをスクラブしてピットに戻る。その後、次々に他のドライバーもコースに入り、最後のアタックへと向かった。

ここでまずトップに立ったのは、松田。続いてアタックした一貴、デュバル、大嶋らは松田のタイムを上回れなかった。その直後、一気にトップに立ったのは、塚越。塚越は1分28秒523までタイムを伸ばした。それに続いて、1分28秒台に突入したのは、山本。その結果、塚越が昨年のオートポリス戦に続き、2年連続の、そして自身2度目のポールポジションを獲得した。以下、山本、松田、大嶋、伊沢、デュバル、平手、一貴と続いた。

なお予選後の再車検で、山本の16号車がウイング高の違反と判定され、全予選のタイムが抹消された。その結果、山本は27日の決勝を最後尾からスタートすることになり、松田以下のドライバーは1つずつポジションが繰り上がることとなった。



QUALIFYING NEWS FLASH Plus

左のQRコードからアクセス!

予選速報電子版「QUALIFYING NEWS FLASH Plus」には紙面では伝えきれないコンテンツが満載! 全ドライバーの写真、マシンの写真、動画や、普段は見ることのできない公式通知など情報満載! 予選速報を読み終えたらQRコードからアクセス!!

無料

デチャがチームメイト同士のバトルを制し全日本初優勝を飾る!

デチャクライサーとチャランポン・ボラマイというチームメイト同士のトップ争いとなったレース。最終ラップに接触するほど激しいバトルは、デチャが制し念願の全日本初優勝を達成。2位に中富伸一、3位に小林龍太が入った。

予選速報は 中面 で!

ST600

予選速報は 中面 で!

